

日本福音主義神学会 中部部会

2017年度 秋季研究発表会

主にあつて、会員諸兄姉と皆様にご挨拶を申し上げます。
さて、この秋も福音主義神学会中部部会恒例の研究発表会を下記のテーマで開催いたします。多くの方々のご参加をいただき、神学の学びを深めてくださいますよう、ご案内いたします。

会員以外の方の参加も歓迎いたします。ご友人たちにもご案内ください。

日時： 2017年11月20日（月）午後2時半～4時半

会場： 金山キリスト教会（金山クリスチャンセンター1階）

名古屋市中区金山 2-1-3（市民会館北交差点そば）

電話 (052) 331-4058

主題： 「『信仰』をめぐる近年の神学的議論」

中部部会では春は外部より講師をお迎えして公開講演会を、秋には会員による研究発表会を行っています。今回は山崎ランサム和彦氏より、直前に開催される全国研究会議での発表に基づいてお話しいただきます。

発表者： 山崎ランサム和彦氏

1970年大阪生まれの神奈川育ち。19歳の時に受洗。東京大学教養学部卒。同大学院理学部修士課程修了。米国のペテル神学校とトリニティ神学校で学ぶ。哲学博士。専攻は新約聖書学。現在、リバイバル聖書神学校校長、日本福音主義神学会中部部会理事長。著書に『平和の神の勝利』（プレイズ出版）、*The Roman Empire in Luke's Narrative* (T & T Clark)、訳書にヴォーン・ロバーツ著『神の大いなる物語』（いのちのことば社）ほか。ブログ「鏡を通して」(lco1312.wordpress.com)を更新中。